

編集・発行
西砂会館
管理運営委員会
委員長 渡辺 茂

立川市西砂町5-11-13
電話：042-531-0066

印刷：マスタ印刷
電話：0428-22-3047



西砂川伝統
手打ちうどん

委員長就任挨拶

渡辺 茂



五月十三日(土)に開催された「平成二十九年定期総会」で、西砂会館開設時(平成七年)から委員長を務められてきた鈴木久米氏に代わり、委員長に就任させていただくことになりました。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

委員長として、皆様のご期待に応えられる活動が出来るのか自信はありませんが、利用者団体、自治会、地域諸団体の皆様、そして行政、役員運営委員、管理人の皆様のご協力を頂きながら、この「西砂会館」を西砂川地域のコミュニティ活動の拠点として、多数の人が安全で、安心して利用出来る会館であるよう、運営して行きたいと考えています。よろしくお願い致します。

委員長退任にあたって

前委員長 鈴木 久米

私は昭和四十七年に立川市体育指導委員となり、中央とのパイプ役として地域スポーツ発展を目指して活動してきた。昭和五十年に地元西砂川に体育会を発足させ、同時に子供育成団体協議会も発足した。昭和五十九年には青少年対策地区委員長となり、西砂川地区の明るい町作り活動を行なった。その時に当地域に会館を建てる提案を行ううことを考え、西砂学習館を一部改造、模様替えを行なう請願を提出した。

昭和六十三年に当地区に文化会を発足させた時点で、行政から会館を建設する話があり、地域の有志、団体の代表者による検討委員会を発足させ、実現に向けて活動し、学習等供用施設「西砂会館」が平成七年二月にオープンした。

会館の活動はまず当地域内の食文化を取り入れ、平成十年に手打ちうどん作り、まゆ玉作り、お茶作りなどを手がけた。また

平成十二年から地元の小学校六年生を対象に出前授業として、昔ながらの手打ちうどん作りを行い、現在も継続して行なっている。

さらに西砂川地域の方言で語り合う会合を、一年間かけて進め、成果として「西砂川方言辞典」を作成した。平成十二年には小、中学校の分校跡地に地元の協力を得て記念碑を建設した。平成十五年には西砂川音頭を地域の方々から募集し、二曲を取り上げ、盛大に発表会を行なった。

当館は発足以来十三年目で利用者が二十万人を達成した。当地域内には二つの会館があることから他地区の会館に比べて当館の利用者数が少ないのが現状であるが、地域の諸団体に当館を利用するよう常に呼びかけ、平成二十八年十二月に利用者三十万人が達成された。今後も利用者を増やす様、会館運営に取り組んでもらいたい。

最後に二十二年間、運営委員の皆様方には全面的に協力して頂き、心から厚くお礼申し上げます。

新校長・副校長先生紹介



西砂小学校
校長 小崎 仁

着任のご挨拶

この四月より、松中小より異動となりました。四年前は、西砂小副校長として、一年間勤務しました。

縁あって、再び西砂小で校長として、慣れ親しんできた西砂川地域で仕事ができること大変嬉しく思っています。頑張っていくしますので、どうぞよろしく願います。



松中小学校
校長 福原 憲生

着任のご挨拶

松中小学校に着任いたしました。福原憲生と申します。どうぞよろしく願います。

さて、本校ではやさしく、かしこく、たくましく」を目標に教育活動を行っており、この地域を背負う子供たちが、この地域に誇りを持ち、互いに思いやりをもって生きていけるよう、地域の学校としての役目を果たして参ります。

立川第七中学校

副校長 増田 功司

着任のご挨拶

西砂地域の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。四月より世話になっております。よろしく願います。

先日、創立四十周年記念運動会が開催されました。生徒が一生懸命に競技に打ち込んでいる姿に感動しました。町内の皆様とともに子どもたちを育てていきたいと思っております。

『西砂会館まつり』

去る三月十二日(日)に西砂会館まつりが行なわれました。



砂川の赤い風 「あかつ風」

砂川の土壌は火山灰土で粒子がこまかく、少しの風でも土が舞い上った。昭和三十年代までは、五日市街道の両側に家があるだけで、北も南側も全部畑であった。冬の畑は秋にさつま芋を掘った俵、桑の苗木を掘り取った俵の空地が多く、風が吹くと土が舞い上り、二メートル先も見えないほどであり、その様な時には火の番が「火の用心」と拍子木を叩き、庭通し（家から隣の家に行く道）を回った。

茶の間の風記

その様な風は連日吹いた時もあり、土ぼこりは空に巻き上げ暗くなった。他町村から見ても日も砂川に赤つ風が吹いていると云われた。当時の農家は、ゆがみ、立付が悪く家の中に土ぼこりが留り、砂川の家の中にも

ゴボーが蒔ける、床間にナスが植られると悪口を云われた。防風対策に畑の境にはウツ木、畑の区画に茶の木を植えた。連日の風には容赦なく土を巻き上げた。

そのような砂川の土壌にも利点がある。水はけが良く乾燥した土地は西瓜に適し、甘い大きい西瓜が成り有名であり、さつま芋も美味しく多く出荷された。当時立川駅に貨物専用のホームがあり砂川のさつま俵でうまつた時代もあった。地味の悪い土地の樹木は根張が良い「生きるために多くの根を出す」明治以来日本の養蚕業が発展し、それに伴い、桑の苗木の生産が始まり、生産高は日本一と成り全国に出荷された。昭和三十年代に化学繊維の開発により絹糸の暴落と共に養蚕業が衰退し桑苗の生産が終った。その後櫛の苗木が生産され、全国に出荷されました。

宮崎 光一

◇管外研修◇

去る六月二十二日（木）に西砂会館運営委員と利用者の管外研修が行なわれました。今回は、伊能忠敬記念館の見学と小江戸散策、水郷佐原あやめパーク見学と盛りたたくさんの内容でした。車内では宮崎光一さんの「立川小唄」のお話をいただき、大変ためになるお話を聞きました。



当日は梅雨の晴れ間で朝から暑くともいい天気でした。



今回も無事に帰ってくる事ができました。参加した皆様お疲れ様でした。

平成29年度 西砂会館
管理運営委員

H29.5.13

役 職	氏 名	備 考
顧 問	鈴木 久米	
//	中里 茂	
委 員 長	渡辺 茂	
副委員長兼事務局長	高谷 由美	
事務局次長	塚本 政典	
事務局員	中里 久江	
//	浦野洋一郎	
//	横内恵理賀	
//	石川 淑子	
会 計	榎本 政光	
//	宮崎 都一	
監 査	笠井 信吾	
//	樋口 昭男	
委 員	橋本 勉	宮沢自治会
//	松井しのぶ	殿ヶ谷組自治会
//	浦和 隆	中里自治会
//	中岩 春子	西砂自治会
//	前田達四郎	諏訪の杜自治会
//	高沢 聡史	希望ヶ丘自治会
//	豊田 淳子	青少健
//	佐々木悠子	文化会
//	加治 成訓	体育会
//	平野 直子	七中PTA
//	鈴木 美子	西砂小PTA
管 理 人	樋口 久子	
//	木村 うめよ	
//	野崎 行男	
//	北野 祐弘	



去る五月七日(日)にお茶つみ手もみ茶づくりを行いました。



八月六日(日) 会館にて『流しソーメン大会』を開催します。



西砂会館利用案内

「開館時間」

午前九時～午後十時

「利用申し込み受付日」

毎月一日と月・水・金の
午前九時～午後五時

(正午～午後一時を除く)

※印刷機も有料にて利用できません。(使用受付時間内)

「休館日」

第二火曜日・第四木曜日

「お問い合わせ」

TEL FAX 五三一〇〇六六

☆会館内は禁煙です

◇編集後記◇

「ビタミンDを補給して、骨を元気にしましょう。」

夏はどうしても日中は暑くて、外出せず、家の中で過ごすという人も少なくないと思います。また、外出しても日焼けするのでUVクリームを塗って出かけていませんか。今の人はビタミンDが不足している人が多いそうです。朝や夕方など、比較的气温が低い時に、少しでも、体をお日様にあてて骨を元気にしてあげましょう。